

最初にファイルを選択する



TNTmips のインポート処理では、まず最初にファイルかフォーマットの選択を行います。このテクニカルガイドではインポートの最初のステップとしてファイルを選択する場合の特徴について説明します。最初にフォーマットを選択する場合については、別紙のテクニカルガイド「インポート:最初にフォーマットを選択する (Import:Selecting Format First)」で他の基本的な情報と共に解説しています。

インポート処理においてフォーマットをデフォルトの [任意 (Any supported format)] にしたままで [ファイル選択 (Select Files)] ボタンをクリックすると、任意のフォーマットのファイル選択が可能です。これはあなたがよく知らないデータを扱っている場合に特に便利です。例えば、TNTmips で使用可能と言われたファイルを持っているとします。しかし持っている *.dda ファイルに対して MRLC (Multi-Resolution Land Characteristics) を選択すべきかわかりません。加えて、ファイルフォーマットによ

ては複数のデータタイプに対して同じファイル拡張子が使われていることがあります。そのため、データについて詳しくない場合、フォーマットの全リストからどれを選択すべきか、またはどのデータタイプアイコンを選択すべきか、判断できないかもしれません。最初の手順として [ファイル選択] をクリックするとインポート処理があなたに代わってオブジェクトタイプを判定します。しかし、インポートをサポートしていないファイルを選択しているかもしれないので注意が必要です。そのような場合、そのファイルタイプはサポートされていない旨の警告が出ます。未サポートのフォーマットのまま処理を続行すると出力が得られません。

ファイル拡張子とファイルフォーマットやオブジェクトタイプは必ずしも一対一で対応しているわけではありません。例えば、拡張子 .img は TNTmips のインポート処理において 5 種類のラスターフォーマットで使われています。SDTS (空間データ交換に関する米国連邦政府情報処理基準) と GRASS フォーマットは同じファイル拡張子 (.ddf) を持ち、ラスターまたはベクタデータが含まれます。最初にデータタイプを限定しないで (ラスター、ベクタ、CAD、データベースアイコンをクリックしないで) 複数のデータタイプの可能性がある拡張子のファイルを選択した場合は、ファイルのデータタイプが判断されて同じ拡張子でも異なるフォーマットのリストが提示されます。

ファイルフォーマットの中にはベクタまたは CAD としてインポートできるものがあります。ベクタや CAD のデータタイプのアイコンをクリックせずに [選択] をクリックしてファイルを選んだ場合、[次 (Next)] ボタンを押した後に出てくる <インポートパラメタ> ウィンドウでインポート先のオブジェクトタイプを指定することになります。ファイルを選択する前にベクタまたは CAD のデータタイプアイコンをクリックすると、あなたが指示しなくてもデータタイプがセットされます。

インポートやエクスポートでは複数のファイル/オブジェクトの選択が可能です。しかし、それらは同じファイルタイプもしくはオブジェクトタイプである必要があります (例えば、全てがシェイプファイルやラスターオブジェクト)。フォーマットリストにはあなたが選択したデータタイプに対して指定可能なファイルフォーマットが表示されます。

